

報道各位

一般社団法人日本船用工業会

次世代海洋エンジニア会 第2回交流会を実施

今般、当会会員企業における若手技術者の人材育成の一環として、「次世代海洋エンジニア会 (NGMEA : Next Generation Marine Engineer Association)」の第2回交流会を、5月11日～5月13日の2泊3日にわたり、会員企業28社36名(本事業参加企業31社41名のうち3社5名は業務都合等により欠席)の参加を得て実施した。本事業では、同一メンバー参加の下、2年間にわたり計5回の交流会を実施することとしている。

本事業は、平成30年10月に当会技術開発戦略検討委員会で取り纏めた「今後の技術開発事業のあり方」において、今後の船用工業を支える若手技術者職員の、①技術者としての能力向上・育成、②海事クラスター内の技術者の交流・ネットワーキングの構築、③異分野の技術者との交流を通じた意識改革、④異分野と連携した新しい発想に基づく製品開発の創出が必要とされたことを受けて、10年後を見据えた各社の将来を担う優秀な若手技術者間の深い交流を築く機会を提供することを目的としている。

第2回交流会は、現下の新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、参加者に事前のPCR検査を求めるなど感染予防対策を徹底し、対面での合宿形式でグループワークとアイデアソンの2本柱で実施した。

1 本目の柱であるグループワークは、レゴ®SPIKE を使用したロボットコンテストを行うことによりチームビルディングを行うとともに、プログラミングの体験を行った。交流会3日目には、当会の木下会長(ダイハツディーゼル株)、廣瀬副会長(ヤンマーパワーテクノロジー株)、宇津木技術開発戦略検討WG座長(株宇津木計器)、矮松航海部会部会長(古野電気株)を審査委員とした、ロボットの出来栄等を競うコンテストを行った。

2 本目の柱であるアイデアソンは、民間企業からの受託研究数日本一の近畿大学のリエゾンセンターの方を講師に招き「近畿大学の産学連携活動について」と題した講義の後、スポーツ用品メーカーであるミズノ株の職員9名に参加いただき、異業種とコラボレーションして技術開発を促進していくための方策を学んだ。

昨年8月に実施した第1回交流会はオンライン形式で実施し、実際に対面するのは今回が初めてであったため、当初は緊張した面持ちであった参加者も、3日間の合宿を通じて交流を深め、グループワークやアイデアソンを通して、日常とは違う異業種間の自由闊達な意見交換を積極的に行っている様子が見て取れ、成功裏に終了した。

1. 実施期間：令和4年5月11日（火）～5月13日（金）

2. 研修場所：ホテルフクラシア大阪ベイ

3. 参加者：28社36名（50音順）

(株)赤阪鐵工所、イーグル工業(株)、(株)MTI、(株)カシワテック、(株)京泉工業、
(株)ササクラ、(株)ジャパンエンジンコーポレーション、大晃機械工業(株)、
ダイハツディーゼル(株)、大洋電機(株)、高階救命器具(株)、(株)帝国機械製作所、
東京計器(株)、ナブテスコ(株)、西芝電機(株)、バルチラジャパン(株)、
阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、ヒエン電工(株)、(株)日立ニコトランスミッション、
(株)福井製作所、富士貿易(株)、古野電気(株)、兵神機械工業(株)、三浦工業(株)、
三菱重工業マリンマシナリ(株)、山科精器(株)、ヤンマーパワーテクノロジー(株)



(株)ミズノの講演



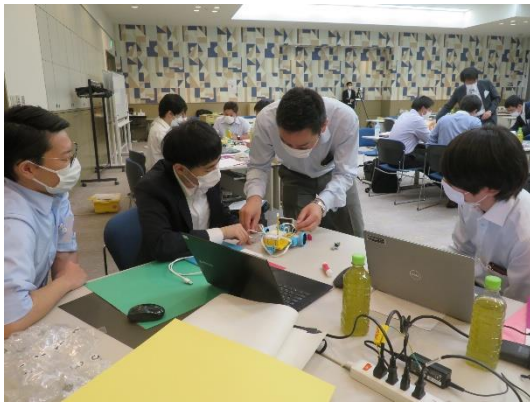
近畿大学リエゾンセンター 塚本氏の講演



アイデアソン①



アイデアソン②



グループワーク（ロボット製作）



ロボットコンテスト



参加者集合写真①



参加者集合写真②

(事務局問合せ先)

技術部 文屋/三田村 TEL: 03-3502-2041 E-mail: mitamura@jsmea.or.jp

以上